

とうほくのみらい応援ファンドによる農林漁業の
成長産業化支援
(みずほフィナンシャルグループほか)

【概要】

東北地方各地域に基盤を持つ地方銀行4行（荘内銀行、東北銀行、北都銀行、みちのく銀行）と、みずほフィナンシャルグループ2社（みずほ銀行、みずほキャピタル）、及び農林漁業成長産業化支援機構が一体となり、地域産業の6次産業化推進を目的とした「とうほくのみらい応援ファンド」に出資。

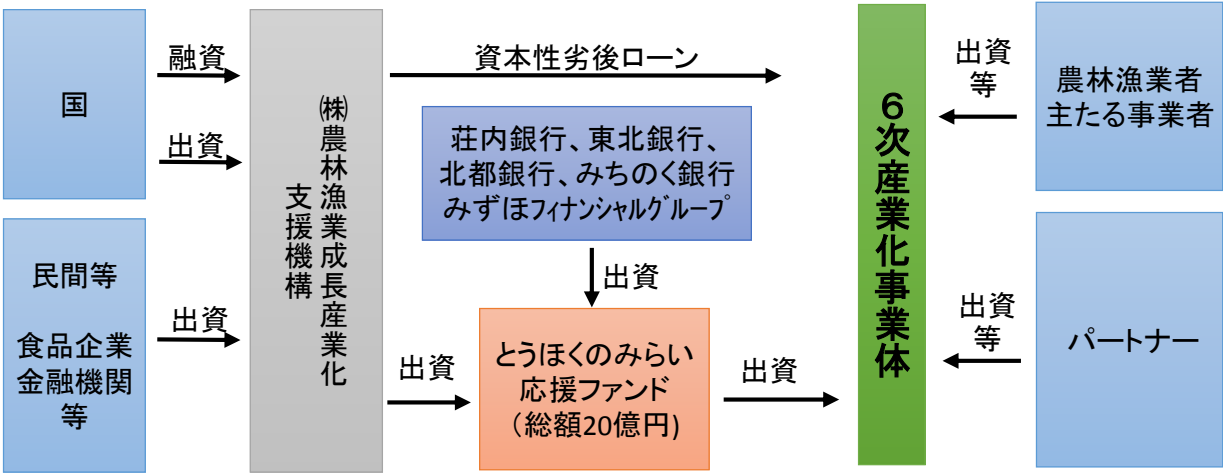
背景と経緯

地方銀行4行（荘内銀行、東北銀行、北都銀行、みちのく銀行）とみずほフィナンシャルグループ2社（みずほ銀行、みずほキャピタル）は、東北地方の主な産業の一つである農林漁業の競争力を高めることが雇用創出や地域活性化につながると考え、農林漁業成長産業化支援機構と一体となり、平成25年4月に「とうほくのみらい応援ファンド」に出資をした。

平成26年1月に第1号投資案件として、青森県深浦町の水産加工会社である「あおり海山株式会社」に1億円、平成26年3月に第2号案件として、岩手県洋野町の牛乳・乳製品製造会社である「有限会社おおのミルク工房」に1,300万円、平成27年11月に第3号案件として、宮城県名取市の「株式会社名取北釜ファーム」に1,000万円の出資を行うことを決定した。

具体的な取組

ファンドイメージ図



第1号出資案件

株式会社あおり海山に対し1億円を出資した。
青森県内NO.1の水揚げ量を誇る「深浦マグロ」のブランド化を推進する目的で、深浦町に冷凍加工場を整備した（写真1）。

新設の冷凍加工場により、「深浦マグロ」を加工したのち、マイナス55℃で冷凍保管し、通年で安定した出荷を可能とする体制を構築した。



写真1 冷凍マグロ加工場

第2号出資案件

岩手県洋野町の有限会社おおのミルク工房に対して1,300万円を出資した。

酪農家が絞りとてを鍋で沸かして飲む牛乳本来の味を再現した牛乳を製造販売するほか、地域特性を活用したヨーグルト・ソフトクリームミックス等の開発・製造販売を行う。



写真2 おおのミルク工房

今後の課題

上記の出資先に対し、継続的な経営支援、販路支援を行うことにより、地元雇用の拡大と農山漁村の活性化に貢献する必要がある。また、更なる出資先の探索に向け、地方銀行4行のネットワークを活用しながら、みずほフィナンシャルグループ、農林漁業成長産業化支援機構を含む関係機関の連携が求められる。



Point | 支援実施のポイント／横展開にあたっての示唆

支援実施のポイント① 地域の核となる産業の活性化

支援実施のポイント② 関係各機関の連携